

“秋の親睦一日旅行”  
に初参加させて頂いて  
(11月17日)

その時の一人、今は私たち祖父母が見上げるようになります。そして二本の桜の木も立派に育ち毎年美しい花を咲かせ楽しませてくれています。ハピニングもありました。数年前新聞を賑わせた桜の枝泥棒のこと、台風で根こそぎ倒れたこと。その都度適格な判断、行動の返答をすぐに下さいました。それ以来下関深坂さくら友の会の方々の素晴らしい活動を知りました。

今回不思議なご縁で初参加させていただきました。た。当日ほとんどの方とは初対面でしたが関門橋を渡る頃には和気あいあ



いとした車中の雰囲気に  
すっかりうちとけ楽しい  
スタートとなりました。

初冬の野山の紅・黄葉を、そして水墨画の様な景色を車窓より楽しみつつ、青の洞門 山国川を左に見て羅漢寺へ。麓よりリフトにしがみ付きながらも見た左右の楓の紅葉 眼下の銀杏の大木の黄葉は見事でした。時の流れを思わせる丸くなつた急な石段を上り岩肌にくつ付いて建つ山門を見上げた時、



古の人々の信仰の篤さに感動させられました。



漢様のなかに親しい人に似たお顔の仏様がおいでになるとのこと。心を残しつつサツポロビール九州工場へ。思い思ひに美味しいビールを飲み、昼食、工場見学、試飲、各自幸せな気持ちで院内の石橋群見学へ。途中、案山子さん達のお出迎え、そして思いがけない見事な

大渋滞の高速道路を満月に見守られながら、やつと関門橋を渡り下関着。会員の方々の地道な奉仕の精神で深坂の森を守り進化させていらつしやる事が、さり気無い会話の中からも感じることができ私にとつて有意義な楽しい一日旅行となりました。道中見事に黄葉した銀杏の大木を随所に見たせいでしょうか“今までよ！”と買った重たい銀杏の俎板と共に。

それから又ひた走り、山間の谷に静かに佇む苔むした石橋を、河原より見上げた時、現在に通じる日本人の技術力の素晴らしさ、底力の強さを感じました。

“慈恩の滝”との出会い。  
滝の裏を歩き水しぶきを受けて全員水も滴るいい

(山本芳枝記)

